

死を背負って生きる

サマセット・モームが残した言葉に「絶対に間違いがない統計は、人間の死亡率は100%である、というものだ」というのがあります。この世に生を受けた者は、ただ一人の例外なく、死を迎えます。私たちは死を背負って生きているのです。その死へのプロセスをどう生きればよいのか共に考えてみたいと思います。



司会
長尾 和宏
長尾クリニック 院長

市民公開講座

日本死の臨床研究会年次大会

講師



柏木 哲夫

淀川キリスト教病院名誉ホスピス長 /
大阪大学名誉教授 / ホスピス財団理事長

1965年大阪大学医学部卒業。同大学精神神経科に3年間勤務し、その後3年間、ワシントン大学に留学。1972年帰国し、淀川キリスト教病院に精神神経科を開設。翌年日本で初めてのホスピスプログラムをスタート。1993年大阪大学人間科学部教授就任。2004年4月より金城学院大学学長。2013年9月より淀川キリスト教病院理事長。2018年より名誉ホスピス長、相談役。

会場

第1会場(神戸国際展示場2号館 1階南)

兵庫県神戸市中央区港島中町6-9-1

日時

11/4(月・祝) 13:30~14:50

入場料

無料

第43回死の臨床研究会年次大会 運営事務局

プログラム一覧

11/3 [日]

◆第1会場

シンポジウム1

不治の病に向きあう人とその家族の生と死の葛藤を支える

シンポジスト

・池永 昌之 ・小西 達也
・二見 典子 ・橋 直子

シンポジウム3

進行がんの治療継続をめぐる葛藤の共有

シンポジスト

・加藤 晃史 ・伊藤 由美子
・西本 哲郎 ・桜井 なおみ

講演5

スピリチュアルケア：私の学び、葛藤、実践

講師

・山崎 章郎

◆第2会場

ワークショップ1

自己理解・他者理解をチーム医療に活かすには？チーム医療実践に向けたMBTIを用いた参加型セミナー

講師

・豊田 昌徳

シンポジウム4

認知症のある人の症状マネジメントと意思決定支援

シンポジスト

・鶴屋 邦江 ・小川 朝生
・西山 みどり

講演6

自然な看取りを在宅看取り率1位の豊岡から学ぶ

講師

・山本 大祐 ・大槻 恭子

◆第3会場

講演1

災害急性期からの遺族支援：日本DMORTの取り組み

講師

・村上 典子

講演3

Autopsy Imaging：死亡時画像診断の実際とその果たす役割

講師

・法木 左近

シンポジウム5

苦痛緩和のための鎮静と安楽死：尊厳ある死と死ぬ権利をめぐる

シンポジスト

・稲葉 一人 ・田代 志門
・森田 達也 ・田中 美穂

講演7

涙も笑いも、力になる～院内学級の子もたちが教えてくれた大切なこと～

講師

・副島 賢和

◆第4会場

講演2

認知症のある人の看取り

講師

・平原 佐斗司

講演4

スピリチュアルアセスメント

講師

・田村 恵子

セミナー1

対話の感性と技術を磨く

講師

・倉持 雅代

シンポジウム6

多様なグリーフケアの展開：病院、葬儀社、遺族会、保健所の取り組み

シンポジスト

・石井 史子 ・坂口 幸弘
・黒川 雅代子 ・泉原 久美

講演8

災害とグリーフ

講師

・高木 慶子

◆第5会場

シンポジウム2

様々な施設で最期を看取る：その現状と支援

シンポジスト

・白山 宏人 ・田村 亮
・山口 宰 ・金居 久美子

講演9

緩和ケア医が体験した両親の看取り

講師

・森本 有里

11/4 [月・祝]

◆第1会場

シンポジウム7

人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドラインの意味とその応用：医療モデルから生活モデルへの転換

シンポジスト

・樋口 範雄 ・伊藤 香
・清水 哲郎

講演15

死の臨床をめぐる言葉：その怖さと大切さ

講師

・志真 泰夫

セミナー2

マズローの自己実現

講師

・山形 謙二

市民公開講座

死を背負って生きる

講師

・柏木 哲夫

◆第2会場

シンポジウム8

がんおよび非がん患者の終末期における薬の選択とマネジメント

シンポジスト

・畑 世剛 ・岡本 禎晃
・山口 泰弘

◆第3会場

講演14

医療現場の意思決定はなぜ不合理になるのか：行動経済学から生と死に関わる現場の意思決定支援を考える

講師

・平井 啓

◆第4会場

講演10

日本における「死の文化」

講師

・波平 恵美子

講演12

慢性心不全患者に対する緩和ケア：在宅の現場で

講師

・弓野 大

講演16

死の臨床研究と現象学

講師

・浜渦 辰二

◆第5会場

講演11

仏教の死生観と救済観からスピリチュアルケアを考える：震災の死、病の死

講師

・鍋島 直樹

講演13

がん患者の遺族の視点から見た緩和ケア：遺族調査から学ぶ

講師

・林 糸り子 ・宮下 光令

講演17

施設の看取りで求められる家族との関係性の再構築

講師

・高口 光子

◆第6会場

ワークショップ2

死にゆく小児とその家族

講師

・法橋 尚宏

ワークショップ3

マインドフルネスの実践

講師

・岩井 圭司



第43回 日本死の臨床研究会 年次大会

生と死をめぐる 葛藤を支える

日時

2019年
11/3(日)4(月・祝)

会場

神戸国際会議場
神戸国際展示場

兵庫県神戸市中央区港島中町6-9-1

大会長 安保 博文・六甲病院
松本 京子・ホームホスピス神戸なごみの家

実行委員長 木澤 義之・神戸大学医学部附属病院 緩和支援診療科

演題登録期間 2019/4/8(月)~5/31(金)

事前参加登録期間 2019/7/1(月)~9/25(水)

事務局

NPO 法人神戸なごみの家
〒652-0032 神戸市兵庫区東山町2丁目7-4
TEL. 078-578-3112 FAX. 078-578-3114
Mail jard43kobe@gmail.com

運営事務局

〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-4-8
日栄ビル703A あゆみコーポレーション内
TEL. 06-6131-6605 FAX. 06-6441-2055
Mail jard43@a-youme.jp

<http://jard43.umin.jp/>